



かわにし

精華町立川西小学校

検索

めざす児童像

よく学び 心豊かで 元気な子

精華町立川西小学校 学校だより

令和6年6月28日 7月号

いよいよまとめの時期！

… 校長 竹花 真治 …



梅雨に入り、じめじめとした日が続いています。陽射しはあまりありませんが、気温・湿度からの熱中症が心配となっています。子ども達には、体調管理・水分補給等、適宜、指導をする中で、熱中症を防いでいきたいと考えます。ご家庭でも、引き続きご協力お願いします。

(登下校時、首筋へのタオル着用や冷却材使用、日傘もかまいません)

6月20日より始まった水泳学習！ 1年生は初めてのプールに大喜び！ 少々の水の冷たさにも負けることなく、歓声を響かせていました。どの学年の子ども達も、少しでも泳げるようになると、練習を一生懸命頑張っている姿を見てとても嬉しく思っています。



1年生、初めてのプール！

学校・家庭が連携して… 『親』という字の成り立ちは…

本校に赴任させていただいて、はや3か月…、子どもたちからの元気な挨拶や、汗だくになって遊んでいる姿に、毎日嬉しく思っております。その子どもたちの頑張りの裏には、保護者の皆さまの、各ご家庭での「子育て・親業」の努力があったことと思っております。私も3人の子を持つ親ですが、子育てほど難しいものはないと感じています。今号では、子育てに関して、私の思うところを述べさせていただきます。

私が中学生の時、武田鉄矢氏が演じたドラマ「金八先生」が大流行で、ほぼ毎週見っていました。その中で、ある回の放送で、金八先生が話していたのですが…、

「『親』という字の成り立ちは、字を分解してみると、親が、木の上に立って、子ども(の帰りを)見ると書く！」と、金八先生が、親(保護者)に対して子育て論を説法していた場面がありました。意味合いとしては、「子育ては、すぐにかまうのではなく、子どもの動きを木の上からそっと見守るように！」と…。この字の、成り立ちの由来は諸説あるようですが、子育て論として、ストンと落ちる時がある一言だな…、と私は思っています。

以前、ある保護者の方と話をしていた、驚いたことがありました。話をしていた一節ですが… 「先生、私、もう細かいこと言うのやめました。そして、何かできてなくても、怒るのやめました！ 早く宿題しなさい！ 明日の用意は？ 早く食べ！ ゲーム時間長い！ これらを言うのやめたら、子どもが自分で動きだして…」

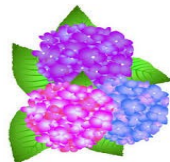
ちょうどその頃、その子の担任と話をしていたら、「この頃〇〇くん、いろんなこと頑張りが出して、褒めること多くなりました！」と…。両者から、同じ時期に、子どもが変わっていった様子が聞けて、びっくりしました。

小学校の低・中学年の時期、次の行動に向けて、言われなくても動けない子どもが多くいると思います。だから事細かに指示してしまうことも多いと思います。わからないことも多いので、仕方ないのですが…。

この流れをずっと続けていると、子どもにしたら、常に指示してもらって、指示通り動けば間違いがなくで…、自分で考えて行動することや、先を見据えて考える機会が、なくなってしまう。また、できていないことに対して怒ることを続けていると、「怒られるから動く」という、子どもにとって、主体性のない動き方が身につけてしまいます。

25日には、6年生が町小学校陸上運動交歓記録会に出場。太陽が丘の陸上競技場で、町内5つの小学校の6年生が、3つの競技に全力で挑みました。この日に向けて授業や休み時間に練習する子がたくさんいました。当日の頑張りも素晴らしかったですが、この日に向かって、一生懸命取り組む姿勢も素晴らしく、今後も様々な行事においても、その力を発揮してもらいたいものです。

「つながり」を大切にスタートした新年度も、早くも7月！ この1学期をしっかりと振り返り、夏休みや2学期につなげていく大事なまとめ時期です。1学期も残すところあと3週間…、子ども達と共に、次につながるまとめとなるよう、教職員一同、頑張る所存です。



でも、言わないと動かないので、つい言ってしまうたり、怒ってしまったり…。どこまで関わった方がいいのか…、本当に難しいと思います。こう書いている私も、自分の子が小さいころ「早くしなさい!!」なんて言葉は、口癖のように使っていました。その結果、子どもがかなり大きくなって、使い続けることになってしまいました…。

PTAの講演会などで、子育てをテーマにした話題の際、「どんな子どもに育ってほしいですか？」の質問に対して、多くの保護者は「自立した子ども」と答えられるそうです。

【自立⇒自分で気づいて考えて行動できる・独り立ちできる】と、捉えるならば、様々な場面において、子どもが行動を起こすまで「待つ！」ことは大切です。また、仮に、持ち物忘れがあっても「学校に届ける」のではなく、忘れ物をして「自分の力で何とかする！」または、「忘れて恥をかく！」ぐらいの、たくましさ身に付けさせていくのも大切です。

(学校としては、届けてもらって、ありがたいことは多々ありますが…)

この保護者の「細かいことを言うのをやめる！」という子育ての方針で、全ての子が好転に向かうかどうかは、全くわかりません。見守ること大切ですし、わからないことは「教える」ことも大切です。子育てに「法則」などありません。ただし、「今は●●していく！」などの「方針を持つ」ことは大切に思います。また、いつの日かの「自立」に向けて、学校と家庭・保護者同士が連携をとり、「方針を共有(学校と家庭)しながら、子どもたちをじっくり・ゆったり育てていく」ことも大切に思います。

子育てで、行き詰まり感があったとしても、1人でお悩みにならなくてください。学校は、「子どもにとっての社会」です！ 子ども達、壁にぶち当たることもありますし、いろんなことも起こります！ でも、それを乗り越えれば、子どもにとって大きな成長です！ たとえ時間がかかっても…、「自立」の日までに！

(我が子だけのことでなくてもむずかしいですが、友達間でのめめ事など、対応が本当に難しいと思います。学校では何かが起こります。何かが起こったとしても、できるだけ早く子ども達が安心した日常に戻るよう、学校と家庭・家庭同士が連携をとっていきましょう)

学期末の個別懇談。学校とご家庭がしっかりと連携をとり、今後のお子さんのことを話し合う、いい時間になれば…、と思っています。お忙しい中ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

